

この日の祈念式は、教頭先生からのお話でした。概要は、以下のとおりです。



○今から 75 年ほど前、まだ先生たちも生まれていない頃、日本はよその国と戦争をしていた。

○昭和 20 年 8 月 9 日 11 時 2 分、長崎に原子爆弾が落とされた。この原爆が落とされた場所から 500 m しか離れていない城山地区も、ほとんどの建物が壊され、たくさんの方が亡くなった。

○城山小学校にいた先生は、31 人のうち 28 人が、児童は 1、400 人あまりが亡くなった。

○命が助かった子どもたちのことが描かれたお話がある。「世界でいちばん悲しいクラス」という本である。

この本には、生き残った先生方と子どもたちの様子が描かれている。

- ・八幡神社に集まり、みんなの無事や今の様子を確認し合ったこと
- ・稲佐小学校の教室を借りて授業を受けたこと
- ・雨の日は傘もなく、濡れながら裸足で学校に行ったこと
- ・窓ガラスがなくて、冬はとにかく震えるように寒かったこと
- ・そのような中で迎えた卒業式は、卒業生が 14 名、在校生は 20 名だったこと
- ・原爆で亡くなった家族や友達のこと、苦しかった生活のことを思うと、みんな涙が止まらなかったこと
- ・2 年後、校舎を修理して城山小学校として新たに出発したこと

○戦争が終わっても、原爆による病気で亡くなる子どももいた。「原爆で亡くなった子どもたちをいつまでも慰めるため」「平和への強い思いを込めて」【少年平和像】がつくられた。その後、毎月 9 日に平和祈念式を行うようになった。

みなさんがいつも「少年平和像」へ拝礼をしている姿は、本当に素晴らしいと思う。これからも、この思いを大切に続けていってほしい。1 年生のみなさんも、これから心がけていきましょう。

教頭先生の話の後、「子らのみ魂よ」を歌い、「原爆殉難者の碑」に向かって黙祷、「少年平和像」にかけて拝礼を行い、各学年の平和活動へと移りました。

